

区政区議会報告・地域情報を週刊で発行しています。ご意見をお寄せください。



日本共産党荒川区議会議員
斉藤くに子
区政ニュース

メール: arajcp@tcn-catv.ne.jp

区議団 <http://www.jcp-arakawakugidan.jp/> / くに子ブログ <http://s-kuniko.jugem.jp/>



2021年12月19日 No.1282号

区役所直通 3802-4627
fax 3806-9246

★無料法律・生活相談会★

弁護士の定例相談は12月は年末なのでお休み
毎月第4月曜18時～

1月24日(月)

★北千住法律事務所での直接の相談予約も取ります。

★生活困窮対策に就いてご対応いたします。ご連絡ください。

荒川区荒川7-37-1(コミバス花の木停留所前)

コロナウイルスとの関係で定例法律相談は完全予約制として密の状況をつくらないようにしたいと思います。

宜しくお願い致します。

①18:00～18:30

②18:40～19:10

③19:20～20:00

予約は先着順とします。前日までに予約がない場合は中止します。



南千住第三幼稚園3歳児クラス編成を求めた陳情 本会議で採択されました

陳情理由

申込みをした5名中、2名は令和4年度の本園4才児・5才児とのきょうだいであり、長子も通いなれた本園での通園を希望している。転園となる場合、距離的にも時間的にも通園が困難となり、子どもは心身ともに余裕がなくなることが考えうる。また3名は本園修了児の末子である。保護者も本人たちも本園に愛着をもっており、入園を強く希望している。

きょうだい関係の揃った本園への通園も考慮し、令和4年度までの学級編成を強く希望する。

本陳情は新年度4月の南千住第三幼稚園の3才児クラスの入園申込が5名で、7人以下の場合は学級編成を行わないと決めたルールに基づいてすすめるとした荒川区教育委員会の方針に対して、是非とも南千住第三幼稚園に入園させて欲しいというものです。

状況を知った当事者の親が、数日で卒園の保護者、地域の方を含め534名のもの署名を集めて提出されたものです。公立幼稚園、南三幼への熱い思いが伝わってきます。



陳情採択の結果を受けてクラス編成は当然です

採択されて本当に良かった！！教育委員会は5名に陳情結果を伝え検討中と回答したようです。このニュース発行印刷時(12月14日)にはまだですが、良い報告を願っています。

南千住第三幼稚園三歳児クラス編成を求める陳情結果 ○=採択 △=趣旨採択 ×=不採択

委員会	自民党	公明党	共産党	立憲市民会	次世代あらかわ	結果				
	×	△	○	△	○	三者三様				
	2	2	1	1	1	7	趣旨採択3・採択2・不採択2			
本会議 1回目	自民党	公明党	共産党	立憲市民会	次世代あらかわ	日本創新党	自由民主の会	元気クラブ	暮らし育ての会	結果
	×	△	○	△	○	×	○	○	△	三者三様
	9	6	6	3	2	1	1	1	1	30
※自民党茂木議員退席・趣旨採択9・採択10・不採択11いずれも過半数に至らず。										
※1回目では結論が出なかったため、2回目は採択・不採択いずれかの表明を求める。										
本会議 2回目	自民党	公明党	共産党	立憲市民会	次世代あらかわ	日本創新党	自由民主の会	元気クラブ	暮らし育ての会	結果
	-	○	○	-	○	-	○	○	-	採択
	9	6	6	3	2	1	1	1	1	30

※自民茂木議員退席、議長を除いて30名中16名が採択で過半数を超えたので不採択の議決は取らずと記載

これからも公立幼稚園を大切に

3才児教育の効果が少ない? 「7名以下」ならクラス編成はしない

そんなに簡単に決め付けて良いものなのでしょうか。教育上のデメリットがもしあるならば、それを補うための知恵を出すのが教育ではないのでしょうか。これを引き金に公立園廃止が狙いではありませんか。

園の魅力を伝えることや保護者要望の検討はこれから!

幼稚園PTAの方が自前で素敵な各園のしおりを作成し、自分たちで図書館やお店に置いてもらっています。給食実施や預かり保育の拡大などの検討は、やっと来年からです。

年度途中や障害児の受入れも公立の大事な役割

毎年、他区からの転入や他園からの転園があります。また私立園の人的配置では難しい、支援の必要なお子さんを公立園で受け入れています。

4月の入園募集期間を伸ばすこと

定員に空きがあるのに区立幼稚園入園募集を11月のたった2日間(今年は11月2日と4日)で終了してしまうということも、今後改善すべきではないでしょうか。

現在の公立園8園は地域的にも減らせません

南千住2・町屋荒川2・尾久2・日暮里2です。地域バランスからも、最低限の配置です。



子どものコロナ対策10万円給付は?

★15才以下(11月30日までに児童手当が認定された世帯)とその兄姉(18才までの分は児童手当の口座に1人5万円を12月21日に振込。残りの5万円(現金?)は年明け

★12月1日以降に児童手当が認定された世帯は1月中旬以降順次振込。

★それ以外の高校生等の申請方法と対象外の4月1日生は検討中。

低所得者(住民税非課税世帯等)の10万円給付は?

★申し訳ありません。給付日程はなどまだです。



町屋さくら継続陳情「不採択」



京成がコミバス『町屋さくら』の運営を3月31日で終了する申出を荒川区が受け入れてしまったことに対して、継続を求める陳情が町屋地元から提出され、12月10日の本会議で残念ながら8対21で不採択に。

自民党は「区として補助金を出せば、日暮里・尾久でも補助金出してやらなければならない。コミバスではなく代替手段で」と。しかし23区中18区で運行し、16区は赤字分を区が支出しています。

購入した車両(上限1台500万円区が出した)設置したバス停が無駄になっていいのか？ 区が運転手を雇って運行は出来ないの？ 代替手段(乗合タクシー?)の方が区の経費は高くつくのでは、シルバーパスは使えないし？

陳情は不採択になりましたが引き続き声を上げていきましょう。

町屋さくらが開通して10年

通院や買い物、町屋など鉄道駅へ出る、マンション住まいの子育て世帯にご高齢のご両親が来訪、塾に通う子どもがバスで帰宅、様々な利用実態があるのです。



利用実態調査もせず

廃止で区民生活にどんな影響が出るのか、まず考えるのか行政ではないでしょうか。

ところが区は、利用実態を把握しないまま廃止に同意しました。

交通利便性はよい

廃止問題なしの答弁にびっくり

導入時、高齢化に伴う交通アクセス不便地域の解消、大型集合住宅建設に伴う交通需要などを検討し、バス停までの距離300mを対象にしていましたが、400m、500m程度で大丈夫・スーパーまで600mだから大丈夫などと言いはじめました。



台東区は、実地調査も行ってバス停から200mを目安にコミュニティバスの路線対象にしています。

自民党(10)議長除く	×
公明党(5)	×
共産党(6)	○
立憲(1)	○
ゆい(1)	○
無所属(1)	×
次世代あらかわ(2)	×
日本創新党(1)	×
自由民主の会(1)	×
元気クラブ(1)	×
公明党森本議員は退席	

補助90号線拡幅工事は？

沿線の立ち退き、建物解体がすすんでいますが、『工事完了は何時になるのか』と11月24日本会議で質問がありました。

防災都市づくり部長は『用地取得は6割程度と聞いています。現在道路線形協議を行っているところですが、完了したのちに詳細設計、企業者工事(上下水・ガス)電線共同化工事(地中化)、道路工事となりますので明治通りまで開通するのは相当の時間を要すると思われる』と答弁しました。

補助90号の事業認可期間は2026年3月31日までとなっていますが、進捗状況に合わせて伸ばしていくことになるでしょう。何年先になるのでしょうか？ 立退き転居先探しと関係地域のみなさんにはご苦労をおかけします。



荒川七丁目電停 乗車口の間隔の改善を要望



町屋方面電停

都電荒川線、荒川七丁目電停の町屋方面行きのホームと電車乗降口の間が空いていて危ないとの声をいただきました。

三ノ輪方面はピッタリ停車で間は空いていません。

そこで、荒川営業所に電話すると「そうした声はこれまでもいただいています。区役所からも届いていますが、補助90の拡幅工事で都電の位置が変更する時に改善します。」との回答でした。

これでは何時になるかわからない！！日本共産党の斉藤まりこ議員に連絡をして11月11日に現地を見てもらい、都議会公営企業委員会で取上げてもらいました。東京都交通局も「すぐに改善する」との答弁はしなかったようですが、『停車位置を少しずらしたらどうか』など引き続き要望していきたいと思えます



三ノ輪方面電停

メリークリスマス

友人が荒川エコセンターで実施しているエコ生活ひろめ隊主催の「花暦deフラワーアレンジクリスマスレッスン」で作ってきました。素敵ですね。



NPO法人エコ生活ひろめ隊

地球温暖化やヒートアイランド対策として、家庭から出る不用品を活用した実

践講座を年間通して、いろいろ開催しています。また公共団体の「緑のカーテン」の普及事業を支援しています。

本年は今回の12月19日付け1282号で終了致します。2022年は1月16日号から再開を致します。地域の皆さま、いろいろご意見をお寄せいただきありがとうございます。



地域を歩きますと『くに子ニュース』を綴って保存している方がいて、大変嬉しく思います。区と区議会、地域の情報をわかりやすく機敏にお伝えできるよう頑張っていきます。